

# 土砂災害に備えて

## 土砂災害ハザードマップ

### 土砂災害を知っていますか？

#### 土石流



山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

#### がけ崩れ

急傾斜地の崩壊



地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっていきます。

#### 地すべり



斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土壌量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すとこれを完全に停止させることは非常に困難です。

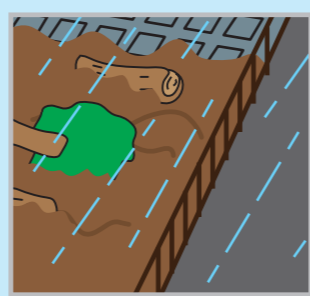
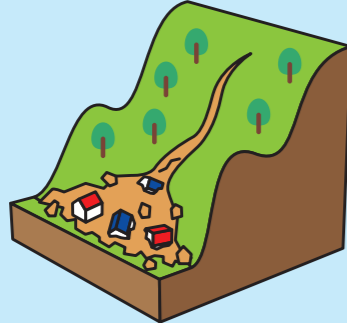
土砂災害のほとんどは、長雨や集中豪雨がきっかけで起こります。一般に土砂災害の発生と雨量の関係は、**1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上**になったら要注意と言われています。十分に警戒してください。



### 前兆現象をみたら 前兆現象を見つけたら、直ちにその場から避難しましょう！

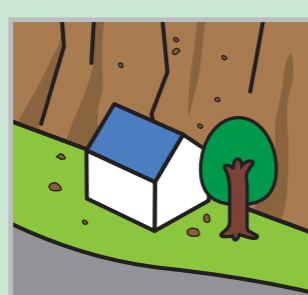
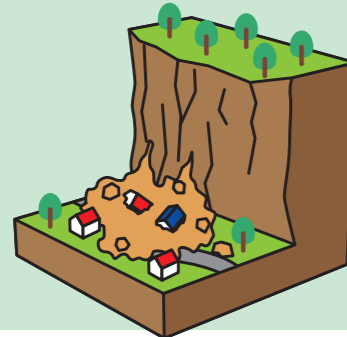
#### 土石流

- ◆山鳴りがする。
- ◆雨が降っているのに川の水が減る。
- ◆川が濁ったり、木が流れている。



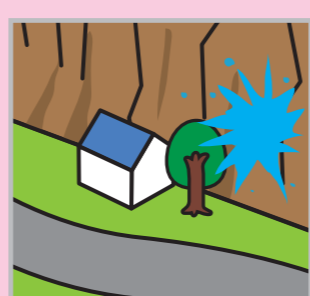
#### がけ崩れ

- ◆がけから小石が落ちてくる。
- ◆斜面のひび割れや変化がある。
- ◆がけからのわき水が濁る。



#### 地すべり

- ◆地面にひび割れができる。
- ◆井戸や沢の水が濁る。
- ◆がけや斜面から水が噴き出す。



### 雨の強さと災害の発生状況

#### 1時間雨量 人が受けるイメージ

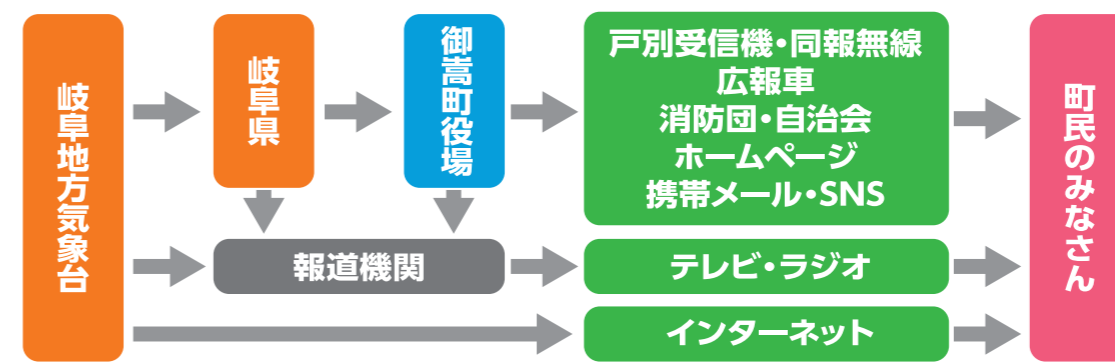
- 10~20ミリ ザーザーと降る
- 20~30ミリ どしゃ降り
- 30~50ミリ バケツをひっくり返したように降る
- 50~80ミリ 滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)
- 80ミリ以上 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

#### 災害の発生状況

- 長く続くときは注意が必要。
- 側溝や下水管、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
- 山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市部では下水管から雨水があふれる。
- 都市部では地下水や地下街に雨水が流れ込む場合がある。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
- 雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

### 情報の伝達経路 災害発生時は、情報に注意しましょう。

土砂災害・洪水に関する情報や避難情報は、次の図のような経路でみなさんに伝達されます。災害発生の危険があるときは、情報に注意しましょう。



### 避難時の心得 避難時は慌てずに、十分注意して避難しましょう。

#### 動きやすい格好、2人以上での避難を

避難する時は、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。



#### お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子供、病気の人などは、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。



#### 水深が50cm以上なら歩くことは危険

水深がひざまで来ると歩くことが困難になります。水深が浅くても流れに勢いがある場合には、むやみに歩き回るとは危険です。



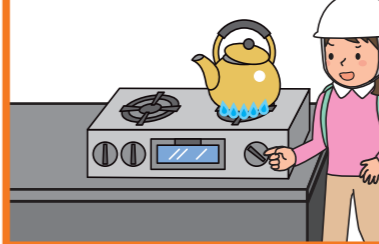
#### 浸水箇所には注意して避難を

浸水箇所があった場合には長い棒を杖代わりにして、水路や側溝などがないか確認しながら、十分に注意して避難しましょう。



#### 避難の前に

避難する前に、ガスの元栓や電気ブレーカーを切りましょう。また、親戚や知人に避難する旨を連絡しておきましょう。



#### 万が一逃げ遅れたときには

万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上に逃げましょう。

